

# 3年 世界史B 課題(5/1-7)

\*教科書P85-86を読みながら、空欄( 1 )～( 28 )に適する語句をルーズリーフに書きなさい。ただし、文中に空欄に入る語句が出ている場合がある。

\*中国史が続きますので、普段使わない漢字がたくさん出てきます。教科書をよく見ながら漢字を書き間違えないように注意してください。

\*ただ空欄を埋めることだけに注力するのではなく、文章の意味をできるだけ把握しながら進めてください。

\*1学期の世界史Bの初回の授業で提出すること。

## 南北の対立(P85)

( 1 )の群雄割拠のなかから、華北の( 2 )、江南の( 3 )、四川盆地の( 4 )の三者が台頭した。曹操の子( 5 )(文帝)が、後漢から政権を奪って( 6 )を樹立して( 7 )に都を置くと、劉備と孫権は、( 8 )と( 9 )(現在の南京市)を都としてそれぞれ( 10 )と( 11 )を建て、中国は三分された( 12 )。

魏は、( 13 )を実施して農業生産の回復に努め、また( 14 )(九品官人法)を制定して有能な人材を集め、華北全域を支配し、ついに蜀を併合した。しかし、実権は臣下の司馬氏に移り、265年、( 15 )(武帝)は魏にかわって( 16 )(西晋)を建てた。280年に呉を滅ぼして中国を統一した晋の武帝は、自作農に土地を確保させる( 17 )を公布して生産の回復をはかり、家ごとに生産物で税をとる戸調式を施行した。

しかし、内紛と内乱( 18 )によって支配体制がゆるみ、( 19 )が本格的に華北に移住し、316年、この混乱のなかで晋は滅亡した。こうして華北は、五胡を中心とする諸政権が興亡をくりかえす( 20 )の時代に入り、華北の人々の多くが難をさけて江南へと移住した。江南の豪族をたよって長江をこえた貴族たちは、( 21 )(元帝)を擁立して王朝を復興し( 22 )、( 23 )に都を定め、稲作地帯を基盤とする政権を樹立した。

## この下からP86

江南の貴族は、華北からの移住民や没落した自作農を迎えいれながら水田の開拓をすすめた。大規模な農園( 24 )の経営に成功した有力な豪族たちは、官界に進出して、要職を独占する( 25 )となり、中央の政治を左右した。420年に東晋が滅亡したあとは、五胡などの攻勢を退けた将軍たちが、つぎつぎに政権を奪って皇帝の座につき、江南では( 26 )と総称される短命な4王朝( 27 )が、同じく( 28 )を都として交代することになった。